

(別添)

「環境ホルモン戦略計画SPEED'98」の改訂について

目的

SPEED'98 が発表されてから現在までの新たに得られた国内外の科学的知見の追加、また国際状況等を踏まえた修正を加えるなど、今後の環境省としての対応方法等について記載する。

方法

専門家からなる改訂ワーキンググループを設置し、検討を進める。ワーキンググループは、環境省環境保健部長の諮問機関として設置されている「内分泌攪乱化学物質問題検討会」の下部組織とし検討状況を同検討会に適宜報告する。

委員構成

氏名	所属
青山博昭	(財)残留農薬研究所毒性第一部副部長
有田芳子	全国消費者団体連絡会事務局
井口泰泉	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター教授
井上 達	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長
鈴木継美	東京大学名誉教授
長濱嘉孝	自然科学研究機構基礎生物学研究所教授
花岡知之	国立がんセンターゲノム予防研究室長
森田昌敏	(独)国立環境研究所統括研究官
中園 哲	北九州市環境科学研究所所長
山口孝明	住友化学工業(株)レスポンスブルケア室主席部員

改訂の時期

平成15、16年度の2カ年で改訂作業を行う。

これまでの開催状況と主な検討事項

第1回

H15.10.28

これまでの取組み

- ・環境省の取組み
環境実態調査、曝露経路調査、健康影響サーベイランス、作用メカニズムの解明等に関する試験研究、国際シンポジウム、日英共同研究、日韓共同研究
- ・各省庁の取組み
文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省
- ・国外の取組み

OECD、USEPA、EU、IUPAC、WHO グローバルアセスメント
検討の進め方

- 第2回 H16.3.9
改訂版骨子につて（現状認識）
・改訂版に記載する項目案（前半部）
・SPEED'98 と WHO グローバルアセスメントの比較
成果のまとめ方について
・一般向けパンフレット（取組の成果）の作成
・取り上げる成果は、専門家へのアンケート結果から選定

- 第3回 H16.4.27
改訂版骨子について
・改訂版に記載する項目案（後半部）
・WHO、EC 等の項目から抽出した重点課題一覧
・現 SPEED との IUPAC、EC 等の項目との比較表
取組の成果について
・アンケート集計結果
・アンケートを基に記載項目の選定

- 第4回 H16.6.1
改訂版骨子について
・改訂版に記載する項目（案）
・記載する現状報告例と評価方針について
・WHO、EC 等から抽出した項目からの再抽出と分類等
・物質選定の方法について（フロー図）
取組の成果について
・パンフレット（案）
・配布先（案）

- 第5回 H16.6.15
改訂版骨子について
・記載する現状報告例と評価方針に基づく作業について
・再抽出と分類について各委員からの意見とりまとめ
取組の成果について
・パンフレット（修正案） 等

今後の予定 -----

- ・第6回 H16.8 ~ 9 報告例の評価結果、改訂版について
- ・第7回 H16.9 ~ 10 必要に応じ関係者ヒアリング
- ・第8回 H16.12 ~ H17.1 改訂版について
- ・パブリックコメントの実施 H17.2 ~ 3
- ・第9回 H17.3 改訂版とりまとめ

- ・平成17年度第1回内分泌攪乱化学物質問題検討会 H17.6 ~ 7 頃
改訂版の承認